平成25年度第２回東浦町子ども読書活動推進会議議事録

日　時：平成25年７月29日（月）　14：30～15：30
場　所：東浦町中央図書館小会議室
出席者：青木美奈子（委員長）、奥田英子（副委員長）、鈴木順子（公募委員）、
服部理恵（緒川小学校教諭）、伊藤世志子（石浜児童館長）、村瀬典子（母の会代表）、
長坂鈴代（森岡西保育園）、千東正子（ボランティア代表）、松下玲子（元ＰＴＡ代表）
事務局：稲葉教育長、成田図書館長
水野館長補佐、杉浦図書館指導員
傍聴者：なし

開会

１　あいさつ

(1)　委員長あいさつ

・本日は、第２次東浦町子ども読書活動推進会議ということで、本が好きな子どもを育てるためによりよい計画を立ててほしい。

(2)　教育長

・自分自身の子ども時代は、運動も本も好きだった。本をよく読んだ時期は、授業で文章を読むとき、すらすら読むことができた。読書から離れている時期は、すらすら読めなくなる。読書は、継続が必要ということを子どものころ思った。子どもたちが自然に本に向くようにしたい。

２　議事

(1)　第２次計画の構成と役割分担について

・事務局が、資料を基に説明する。

〔質疑・意見交換〕

委　員；学校の５年間の変化を数値でという話があったが、システム更新してからのデータは、５年間ないけれどよいか。

事務局；取組のところに、何年度にシステム更新をしたということが記述してあれば、それ以後のデータでよい。

委　員；学校は、貸出状況変化などの数値があるとよいということだが、保育園や児童館も数値が必要か。

事務局；数値はなければなくてよい。実態や変化した状況など箇条書きで記述してほしい。

委　員；これまでに、ボランティアとして学校等で読み聞かせをしている保護者の考えを聞いている。それを書くとよいのでは。家庭と地域の区別もできると思う。

委　員；おはなし会で読み聞かせをしているが、課題などはある。そのときの保護者や乳幼児の様子について記述すると、家庭の記述と重複するように思う。

委　員；家庭と地域は、視点の違いだから、家庭の中で子どもを見る視点と、それら全体を見る地域という視点を考えれば区別できる。

(2)　第２次計画の原稿について

・事務局が、資料を基に、改訂計画の様式と「中央図書館」の原稿について説明する。

・本日の資料のカラーページは、前回の資料の差し替え。Ａ３の資料は、中央図書館の原稿作成の前に書き出したメモなので、計画書に載せるものではない。参考までに出した。

〔質疑・意見交換〕

委　員；家庭の担当は、一家庭の現状を書けばよいのか。

事務局；これまでの家庭の状況とこれからどうしたいかという課題を書いてほしい。担当が３人いるので、３人の原稿を持ち寄って合わせることもよい。また、身近の保護者の方に状況を尋ねてもらってもよい。

委　員；学校の５年間の取組のところで、実績報告書の項目ごとにまとめてもよいか。
事務局；これまでの実績報告書を是非活用してほしい。５年間の資料がなければ提供する。
(3) 今後の予定
・事務局が、資料を基に、今後の予定を説明する。
・資料の追加として、３月末に、完成した第２次計画をホームページにアップする。
〔質疑・意見交換〕
委　員；11 月中旬に原稿を提出する際、データを送ることは可能か。
事務局；メールを使ってデータで送ってもらってもよい。
事務局；会議の２日前までということなので、事前に会議資料の原稿をみなさんに送ることができないので、その点は、ご了承願いたい。審議のとき、原稿を読む時間をとるか、読み上げてから審議するか、審議方法は工夫したい。
(4) その他
・久米常民先生に宛てた南吉直筆の手紙を明日 7 月 30 日、南吉の誕生日まで本館に展示している。
・今、「よむらびファッションショー」「よむらびぬりえ」の募集を行っている。前回、みなさんのご意見を参考によむらびのぬいぐるみなども飾った。また、本日、鈴木委員より、うさぎのぬいぐるみをいただいた。よむらびの友達という設定で活用させていただく。
・文化センターの行事で、ＪＡＸＡ講演会が予定されている。